



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東  
 コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,818	33.6	1,110	△7.5	1,121	△7.5	679	△13.4
2022年3月期第3四半期	14,839	34.3	1,200	△56.9	1,211	△56.7	784	△61.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 686百万円 (△13.1%) 2022年3月期第3四半期 789百万円 (△61.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	3.75	—
2022年3月期第3四半期	4.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,647	8,958	70.8
2022年3月期	11,700	8,617	73.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,958百万円 2022年3月期 8,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.90	1.90
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	1.95	1.95

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,366	32.7	1,498	△5.1	1,508	△5.5	1,111	3.0	6.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	181,216,000株	2022年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,610株	2022年3月期	1,494株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	181,214,417株	2022年3月期3Q	181,214,508株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による働き方の見直しや、人手不足による業務効率化の推進に伴い、企業業務のデジタル化への移行に関心が高まっております。

このような経営環境の中、当社グループは、2021年3月期を基準として、2026年3月期までの5カ年で売上高をCAGR（年平均成長率）26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標に取り組んでおります。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証を迅速に行いながら、成長投資の強化に取り組むことを計画しております。

当第3四半期連結累計期間において、クラウド事業は主力サービスを中心に高い成長率を継続し、新規導入社数も着実に積みあがるなど好調に推移いたしました。IT人材事業については、旺盛な顧客ニーズを背景にエンジニアのアサインが順調に増加いたしました。費用面では、広告宣伝費の積極的な投下を継続いたしました。

なお、非連結子会社において、想定していた業績計画から実績が乖離したため関係会社株式の減損処理を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19,818百万円（前年同期比33.6%増）、営業利益1,110百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益1,121百万円（前年同期比7.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は679百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ①クラウド事業

クラウド事業は、主力サービスである楽楽シリーズを中心に業績が好調に推移した結果、売上高は16,110百万円（前年同期比34.1%増）となりました。利益面では、中期経営目標の方針通り、広告宣伝費を中心に積極的な成長投資を継続したことから、セグメント利益は768百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

#### ②IT人材事業

IT人材事業は、旺盛な顧客ニーズが継続し、採用が堅調に推移するとともに、稼働エンジニア数が順調に増加した結果、売上高は3,708百万円（前年同期比31.3%増）、セグメント利益は341百万円（前年同期比50.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ926百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が643百万円、現金及び預金が296百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。主な要因は、のれんが122百万円、顧客関連資産が55百万円、関係会社株式が52百万円それぞれ減少したものの、差入保証金が96百万円、建物及び構築物が77百万円、繰延税金資産が55百万円、工具、器具及び備品が47百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ946百万円増加いたしました。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ579百万円増加いたしました。主な要因は、未払費用が591百万円減少したものの、賞与引当金が438百万円、未払消費税等が225百万円、預り金（流動負債「その他」）が196百万円、未払金が147百万円、契約負債が85百万円、未払法人税等が74百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は132百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に、長期未払費用が28百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ604百万円増加いたしました。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により344百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により679百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2021年3月期を基準として2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標を掲げております。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証をしつつ、最速での成長を目指して投資の強化に取り組むことを計画しております。最終年度においては、投資の効率化に取り組むことで、利益目標の達成を実現する方針です。

2023年3月期は、引き続き旺盛なデジタル化ニーズを捉え、高成長を実現するために投資内容を適宜見直しつつ、積極的な投資を継続する一方、連結子会社のレンタルサーバー事業の会社分割に伴う特別利益の計上が見込まれるため、売上高27,366百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益1,498百万円（前年同期比5.1%減）、経常利益1,508百万円（前年同期比5.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,111百万円（前年同期比3.0%増）を計画しております。

なお、連結子会社のレンタルサーバー事業の会社分割に関する詳細内容は2022年11月30日に発表しております「当社連結子会社（株式会社ラクスライトクラウド）とNHNテコラス株式会社との会社分割（吸収分割）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,861	5,158
売掛金	3,104	3,747
未収還付法人税等	131	—
その他	333	450
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	8,419	9,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	175	252
工具、器具及び備品（純額）	710	758
有形固定資産合計	886	1,011
無形固定資産		
のれん	627	505
顧客関連資産	61	6
ソフトウェア	34	27
無形固定資産合計	723	539
投資その他の資産		
投資有価証券	0	—
関係会社株式	52	—
関係会社長期貸付金	36	33
差入保証金	888	984
繰延税金資産	685	740
その他	12	15
貸倒引当金	△4	△24
投資その他の資産合計	1,671	1,750
固定資産合計	3,281	3,301
資産合計	11,700	12,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1	0
1年内返済予定の長期借入金	4	4
未払金	1,285	1,433
未払費用	754	162
未払法人税等	116	191
未払消費税等	198	424
契約負債	549	634
賞与引当金	—	438
その他	67	267
流動負債合計	2,977	3,556
固定負債		
長期借入金	36	33
長期未払費用	69	98
固定負債合計	106	132
負債合計	3,083	3,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	378	378
資本剰余金	308	308
利益剰余金	7,918	8,253
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,604	8,938
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	10	17
その他の包括利益累計額合計	13	19
純資産合計	8,617	8,958
負債純資産合計	11,700	12,647

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,839	19,818
売上原価	4,781	6,290
売上総利益	10,058	13,528
販売費及び一般管理費	8,857	12,418
営業利益	1,200	1,110
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	21
受取補償金	0	0
助成金収入	7	4
受取保険金	2	—
その他	1	2
営業外収益合計	11	28
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	0	—
関係会社貸倒引当金繰入額	—	16
その他	0	0
営業外費用合計	0	16
経常利益	1,211	1,121
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
受取和解金	—	5
特別利益合計	—	15
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	—	52
特別損失合計	0	52
税金等調整前四半期純利益	1,211	1,084
法人税、住民税及び事業税	401	460
法人税等調整額	25	△55
法人税等合計	427	405
四半期純利益	784	679
親会社株主に帰属する四半期純利益	784	679



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	784	679
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	5	6
その他の包括利益合計	5	6
四半期包括利益	789	686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789	686

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額644百万円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,014	2,824	14,839	—	14,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	45	45	△45	—
計	12,014	2,870	14,884	△45	14,839
セグメント利益	972	226	1,199	0	1,200

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,110	3,708	19,818	—	19,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	24	25	△25	—
計	16,110	3,733	19,843	△25	19,818
セグメント利益	768	341	1,109	0	1,110

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。